

Playing football on artificial turf as a risk factor for fifth metatarsal stress fracture : a retrospective cohort study

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2018-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮森, 隆行 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002179

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1984 号

Playing football on artificial turf as a risk factor for fifth metatarsal stress fracture

(人工芝上でのサッカーは第五中足骨疲労骨折の危険因子となる)

宮森 隆行 (みやもり たかゆき)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

サッカー選手に発症する疲労骨折の中でも第五中足骨疲労骨折 (MT-5) は頻度が高い。これまでの先行研究では、体重や体脂肪率などの体組成との関わり、ビタミン D の摂取不足、また、立位アライメントや動的バランス、さらに股・足関節の可動域や足指把持筋力との関係性が示唆されてきた。しかしながら、練習グラウンド、特に近年急速に普及している人工芝グラウンドの使用頻度との関係性も疑われていたが、科学的根拠が乏しいのが現状であった。本研究では、サッカー選手を対象に大規模疫学調査を行い MT-5 の発症率を算出すると共に、MT-5 発症の有無による体組成などの内的因子および練習時間や所属カテゴリー、スパイクの種類などの外的因子を考慮に入れて、人工芝上でのプレー頻度と MT-5 発症のリスク推定をすることを目的として構成されている。本研究結果では、年齢や BMI が MT-5 の発症リスクであることと同時に、人工芝の使用頻度が増えるに従い、MT-5 発症リスクが増加することを証明した。これらの知見は、今後サッカー選手における MT-5 の予防プログラムやリハビリテーションプログラムを検討する上で貴重な科学的情報源と成り得る。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。